

★好評販売中！お求めはお早めに

●入間県・熊谷県とは？

県民の日11月14日は、明治4年（1871）、初めて埼玉県の名称が登場したことに由来していますが、当時埼玉領域は、埼玉郡・足立郡に限られていました。それ以外の地域は、入間県が管轄していました。その後、明治6年6月、入間県と第1次群馬県が統合して広大な管轄地をもつ熊谷県が成立。さらに、明治9年8月に熊谷県が廃止となり、元の入間領域と埼玉領域を統合して、ようやく、ほぼ現在と同じ県域をもつ埼玉県が成立することになりました。

めまぐるしい府県統廃合の中で誕生し消えていった入間県と熊谷県からは、明治維新直後の埼玉の歴史が伝わってきます。

●「入間・熊谷県史料」とは？

埼玉県史料叢書（そうしょ）では、すでに「埼玉県史料」を刊行しましたが、これには入間県・熊谷県に関する史料は収録されていませんでした。そこで埼玉県成立過程の全容を把握するため、両県に関する史料を2巻4冊に分けて刊行するものです。

昨年刊行した「入間・熊谷県史料三」に引き続き刊行の「入間・熊谷県史料四」で「熊谷県史料」が完結します。熊谷県の前身である入間県の資料を編さんする「入間県史料」は平成19・20年度の刊行予定です。

●この本の内容は？

本巻では、群馬県庁文書（国文学研究資料館収蔵）、群馬県行政文書（群馬県立文書館収蔵）および埼玉県行政文書（当館収蔵）から収集した熊谷県関係の資料を、下記の5つの資料として編集しました。

■上申・指令・往復文書・・・国と熊谷県、熊谷県と他県とのやりとりをまとめた文書。

- 1 御指令本書・・・群馬県が伺・指令を年・課毎にまとめた当時の編さん物。既に翻刻済みの『群馬県史』では収録されていない、現在の埼玉領域（武蔵国分）を中心に翻刻しました。
- 2 埼玉県行政文書・・・埼玉県行政文書中に残されている熊谷県にかかわる文書から主要なものを選択して収録しました。

■考績録・・・行政を担当した各課の業務報告書

■学務年報・・・学務課の業務年報

■演説書・・・熊谷県廃止時、群馬県から埼玉県への引継書

■引継書類目録・・・群馬県から埼玉県へ引継がれた書類の目録

当時の県は、官選によって地方官（県令、のちの知事）が任命され、国の一機関として地域行政を担っていました。この時期は、封建制から近代国家へと移行していく過程にあり、県でも国の方針にもとづいて土族の秩禄処分や地租改正、町村合併、殖産興業の振興など様々な施策を進めていました。また、製糸や製茶の会社設立願など勸業県としての熊谷県の一面を現す資料も含まれています。

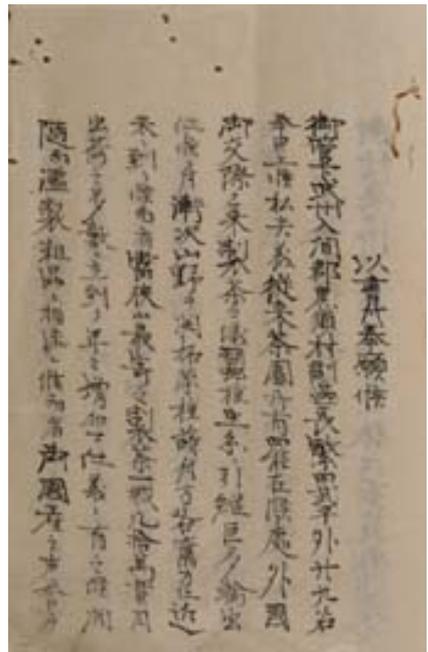
●本書の構成



明治6年～9年の熊谷県と埼玉県



太陽暦耕作一覽（熊谷県出版）



熊谷県に提出された狭山（製茶）会社の設立願



熊谷県の県印

- 口絵（4ページ）：本文に関連の深い貴重な写真を、掲載しました。
- 凡例（3ページ）
- 目次・細目次（5ページ）
- 解説（30ページ）：収録史料の解説をつけました。
 - 第4章◆上申・指令・往復文書
 - 第5章◆考績録・学務年報
 - 第6章◆演説書・引継書類目録

*解説第1章～第3章は上巻に収録しました。
- 参考文献（2ページ）：熊谷県域に関わる県内自治体史をまとめました。
- 本文（454ページ）
- 参考資料「上申・指令・往復文書一覧」（22ページ）
 - ：割愛した史料もふくめ、熊谷県のうち現在の埼玉県域にかかわるすべての上申・指令・往復文書を、編年順に掲載しました。本書掲載史料には頁をつけて、索引としても利用できるようにしました。
- あとがき